

## ～下記の研究を行います～

# 『急性期病院における看護師を中心とした入退院支援の 有用性』

【研究の主宰機関】 大阪大学大学院医学研究科 保健学専攻 老年看護学教室

【研究代表者】 竹屋泰

【研究の目的】 急性期病院に入院し、入退院支援が必要な高齢者の患者さんを対象に、入退院支援加算 I・入院時支援加算の導入に伴う効果を明らかにすること

【研究の期間】 研究許可日～2022 年 3 月 31 日

【研究の方法】

### ●対象となる患者さん

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターに入院された 65 歳以上の高齢者で 2017 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日、および 2014 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日の間に手術をされた方

### ●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から下記項目等の情報を収集させていただきます。

- I. 基本情報（年齢、性別、身長、体重等）
- II. 身体情報（日常生活動作、認知症の有無等）
- III. 医療情報（主疾患、既往歴、入院日数等）
- IV. 医療資源情報（要介護区分、在宅サービス等）

### ●外部への情報等の提供

情報収集は病院内にある電子カルテから行い、診療録から得られた結果は個人が特定できないように個人を特定できる情報は匿名化します。データ収集は、インターネットが接続されていないパソコンを用い、個人のユーザーフォルダにデータを入力します。パスワード付きの USB に収集したデータを移し、大阪大学大学院医学研究科 保健学専攻 老年看護学研究室に送付します。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## ●研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

大阪大学大学院医学研究科 保健学専攻看護実践開発科学講座 教授 竹屋泰  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 和田喜代子

## 【研究の資金源】

なし

## 【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター  
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14  
TEL (06) 6942-1331 (代)  
看護部 (役職名) 看護師長 (氏名) 和田喜代子

研究代表者

大阪大学大学院医学研究科 保健学専攻看護実践開発科学講座 教授 竹屋泰  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7  
TEL: 06-6879-2541, FAX: 06-6879-2541